

# 新しい公共の場づくりのためのモデル事業 申請一覧

| 番号 | 事業概要                            |   | 事業主体  |                                 |                 |
|----|---------------------------------|---|---|---------------------------------|-----------------|
|    | 事業名称                            | 概要  | 協議体、行政、団体名  | 代表者                             | 対象地域            |
| 1  | 宍道湖・中海・大山圏域のあたらな風景街道づくり事業       | 道路を舞台として、宍道湖・中海・大山圏域ならではの風景や自然、歴史、文化などの地域資源を活かした新たな「美しい景観づくり」や「活力ある地域づくり」を行うための取り組みを行う。<br>・AR(拡張現実)を取り入れた道の駅インフォメーション・ビュースポットづくり<br>・風景街道コンテスト(対象:松江高専学生)<br>・風景街道研修会<br>・湖水街道カフェ開催<br>・地域の案内人による体験ツアーの開催            | <協議体名><br>風景街道 神仏の通ひ路協議会(仮称)<br><団体><br>NPO法人しまね歴史文化ネットワークもくもく<br><行政><br>島根県高速道路推進課<br><br><主な会議体構成団体><br>湖水街道推進会議、出雲國寺社縁座の会、水の都プロジェクト会議、島根県ウォーキング協会、MATSUE流の会、神迎の道の会、神門通り廻りの会 他 | (未定)<br>理事長<br>影山邦人<br>-        | 松江市、宍道湖・中海・大山圏域 |
| 2  | 森林資源の総合的活用による地域活性化事業            | ・中山間地域において森林の荒廃が問題となっている中、森林資源(木質、竹)を有効に利用し、燃料、堆肥、敷きわらなどとして総合的に、最大限に活用する。<br>・この取り組みでは、環境の保全を目指すとともに、産業として成り立つよう、原料チップの低コスト生産を実証的に行う。また、地域住民も参加できる仕組みづくりを行う。<br>・上記をH23.H24で実証的に行い、H25以降は、木質チップを原料としてガス化発電・売電を計画している。 | <協議体名><br>奥出雲森林総合活用協議会(仮称)<br><団体><br>NPO法人バイオマス総合研究センター<br><行政><br>奥出雲町町民課環境政策室<br><br><主な会議体構成団体><br>NPO法人奥出雲布勢の里、仁多郡森林組合、(株)佐藤工務所、(有)植田工務店、(有)中村建設                             | 代表<br>佐藤和彦<br>代表理事<br>村上善久<br>- | 奥出雲町            |
| 3  | さくらおろち湖周辺地域再生事業                 | 今年度末に完成予定の尾原湖周辺地域(雲南市、奥出雲町)が、行政の垣根を越えて結束、地域活性化に向けた取り組みを行う。<br>・ダム湖周辺の景観整備<br>・釣りスポット整備<br>・ヤマタノオロチ伝説発祥の地PR<br>・尾原ダム、周辺地域の活動のTV番組制作  | <協議体名><br>尾原ダム地域づくり推進連絡協議会<br><団体><br>NPO法人さくらおろち<br><行政><br>雲南市ダム対策課、奥出雲町地域振興課<br><br><主な会議体構成団体><br>温泉地区ダム周辺地域活性化対策協議会、布勢地区尾原ダム活性化対策協議会、三沢地区自治会長会                               | 会長<br>作野広和<br>理事長<br>作野広和       | 雲南市<br>奥出雲町     |
| 4  | 私設公民館「ゆきみーる」が地域課題にこたえる7つの仕組みづくり | 民間の施設を私設公民館として地域に解放し、NPO、行政、企業、自治会等と連携を図り、多様な年代の交流空間として活用し、地域課題の解決にあたる。<br>・地域自主防災避難訓練<br>・高齢者のサロン・配食サービス<br>・放課後教室<br>・森のようちえん<br>・デジタルアーカイブサービス<br>・青少年の居場所づくり<br>・有償ボランティアの登録制度                                    | <協議体名><br>ゆきみーる協議会(仮称)<br><団体><br>NPO法人緑と水の連絡会議<br><行政><br>大田市まちづくり推進課<br><br><主な会議体構成団体><br>県央保健所、雪見1自治会、がんサロンおおだ、有限会社 百年くらぶ   | 会長<br>和田譲二<br>理事長<br>高橋泰子<br>-  | 大田市             |
| 5  | 新しい公共による黒沢地区まちづくり事業             | 黒沢地区まちづくり推進委員会(公民館単位に、地域内の自治会代表、NPO法人、企業等により設置されたまちづくりのための任意団体)と浜田市が連携・協働することによって、これまで手がつけられなかった農地や里山の保全に取り組み、将来にわたって住み続けられる地域づくりの基盤となる人材や地域資源活用の仕組みづくりを行う。<br>・里山復活活動<br>・村のコンビニ事業                                   | <行政><br>浜田市三隅支所自治振興課<br><br><団体><br>黒沢地区まちづくり推進委員会<br><br><主な会議体構成団体><br>NPO法人あいの会、黒沢公民館  | -<br>会長<br>三浦一夫                 | 浜田市             |
| 6  | 本庄水辺の楽校推進事業                     | 中海に親しみ、環境保全意識向上のために整備された「本庄水辺の楽校」の活用事業<br>・子ども(幼保・小・中)の環境学習支援(水質調査・水生生物の観察など)<br>・水辺の楽校を活用した校外活動や地域活動の協力支援(観察や調査に必要な資材・専門知識)<br>・地域全体での清掃活動や学習活動等を通じた環境保全意識の醸成  | <協議体名><br>本庄水辺の楽校推進協議会<br><団体><br>NPO法人自然と人間環境研究機構<br><行政><br>松江市教育委員会<br><br><主な会議体構成団体><br>本庄中学校、小学校、幼稚園及び各PTA、本庄教育振興会、本庄町内連合町内会、本庄青少年育成協議会                                     | 会長<br>林干城<br>理事長<br>石飛裕<br>-    | 松江市             |

| 番号 | 事業概要                                      |   | 事業主体   |  |         |
|----|---|---|--|--|---------|
|    | 事業名称                                      | 概要  | 協議体、行政、団体名   | 代表者                                    | 対象地域    |
| 7  | 島の「新しい公共」を担うソフトウェア創出事業                    | 人と人とのつながりを重視した島ファンの確保を通じた観光振興に戦略的に取り組むため、観光協会が主体となり以下の事業を行う<br>・「島の料理長」を採用し、島の食材を利用した「食」やおもてなしに「島基準」を設定し、魅力あるサービスの提供・継続を行う<br>・現在ある地域通貨「ハーン」を改革改善し、島外の加盟店や顧客にとっても魅力ある商品と感じてもらえるような制度・運用を行う<br>・上記取り組みを通じて、観光協会を法人化し、今後の事業が担える体制づくりを行う   | <協議体名><br>海士町ソフトパワー創出推進協議会(仮称)<br><団体><br>海士町観光協会<br><行政><br>海士町交流促進課<br><br><主な会議体構成団体><br>(株)海士、海士交通、海士町漁協、JAどうぜん<br>海士支所、(株)潮風ファーム、岩ガキ生産組合<br>(株)、NPO法人海士人、隠岐國商工会                 | 会長<br>中村等光<br>会長<br>中村等光<br><br>-      | 海士町     |
| 8  | 江津市インキュベーションコミュニティ創出事業<br>～地域×創業者×挑戦の共同体～ | 江津市における課題を解決したり、江津市の資源を生かしたビジネスプランを募集するビジネスコンテストを実施し、創業意欲のある人材を誘致する。併せて、市内実業家をその構成員とする江津青年会議所をはじめとする各関係機関が連携して組織的にサポートする体制づくりを行い、そのもとでプランの実現に向けた様々な支援を通じ、江津市での多様な雇用の場の創出を図る。<br>・ビジネスコンテスト開催<br>・市民向け研修会開催  | <行政><br>江津市農林水産課<br><br><団体><br>NPO法人てごねっと石見<br><br><主な会議体構成団体><br>江津青年会議所、江津商工会議所、桜江町商工会、   | -<br><br>会長<br>横田学                     | 江津市     |
| 9  | ツアーコーディネーター養成による新たな観光形態と収入機会の創出           | 隠岐の地域資源を生かした観光振興策として、現在官民上げて隠岐ジオパークの世界登録推進に取り組んでいる。当初から登録推進に重要な役割を果たしてきた、風待ち海道倶楽部が主体となって、民の力でジオパークの適切な管理・運営と魅力的なガイドツアーによる観光振興とその継続的な発展のため、以下の事業を行う<br>・「隠岐ジオパークガイド協会(仮称)」を設立し、ツアープログラムの造成、認定ガイド制度の導入、ソーシャルメディアを活用した情報発信<br>・上記協会の活動基盤の整備を図るため、自主財源確立の取組みとして、寄附付商品の開発、隠岐ジオパークファン倶楽部などに取組み、2年後のNPO法人化をめざす | <協議体名><br>隠岐ジオパーク戦略会議(仮称)<br><団体><br>風待ち海道倶楽部<br><行政><br>隠岐の島町教育委員会<br><br><主な会議体構成団体><br>隠岐自然倶楽部、島後とぎの会、株式会社ワコムアイティ、隠岐汽船株式会社、隠岐の島町観光協会、藤井基礎設計事務所                                    | 会長<br>八幡浩二<br><br>会長<br>吉岡陽子<br><br>-  | 隠岐の島町   |
| 10 | 雲南地域CBSBブラッシュアップ事業                        | 高速道路尾道松江線IC開設を見据え、地域のコミュニティビジネス、ソーシャルビジネスの事業機会を拡大するため、吉田地域で展開されている「食」「町並み」などの地域資源を生かした民間主体の交流活動を基盤とし、交流想定先である広島市内の専門家や連携先の助言を受け、事業可能性の実証とマネジメントの仕組みなどについて学ぶ機会を創出する。<br>・CBブラッシュアップ研修会<br>・CB実証事業  | <協議体名><br>雲南地域CBSB推進協議会(仮称)<br><団体><br>NPO法人まちづくりビジネス支援ネットワーク<br><行政><br>雲南市産業振興部<br><br><主な会議体構成団体><br>(株)吉田ふるさと村、(株)鉄の歴史村、NPO法人まちづくりコラボレーション島根                                     | (未定)<br><br>代表理事<br>藤原洋<br><br>-       | 松江市、雲南市 |
| 11 | 島根県の未来を担う人材育成・就職支援事業                      | 大学生、行政、NPO、地元中小企業が連携し、以下の取り組みを実施する。<br>・学生や新規就職者に対する実業に関する学びの場の提供<br>・大学生と県内中小企業等との就職・求人ニーズのマッチング支援<br>これにより、大学生の地元就職率の向上、若年層の離職率の低下を図り、県内産業の活性化を目指す。   | <協議体名><br>しまね人財学協議会(仮称)<br><団体><br>地域と大学をつなぐ会<br><行政><br>島根県雇用政策課<br><br><主な会議体構成団体><br>島大Spirits!、NPO法人Gassho、株式会社エブリプラン、島根県中小企業課・産業振興課   | (未定)<br><br>代表<br>平野佑<br><br>-         | 松江市     |
| 12 | パブリックドメイン映画を活用したバリアフリーコンテンツ製作基盤整備事業       | 情報媒体が進化発展する中で、年齢や障がいの有無に関わらず、誰もが文化的情報に接する事が出来るように、NPO、行政、福祉団体、教育機関、マスメディア等多様な団体との連携により、映画をはじめとする文化的コンテンツのバリアフリー化を行う基盤整備に取り組む。<br>・名作映画のバリアフリー化<br>・人材育成<br>・市民ファンドの造成<br>・バリアフリー映画の活用・普及<br>・ラジオドラマ作品の制作  | <協議体名><br>バリアフリーコンテンツ製作基盤整備協議会(仮称)<br><団体><br>NPO法人バリアフリー・シネマ&ライフ・ネットワーク<br><行政><br>島根県障がい福祉課<br><br><主な会議体構成団体><br>エフエム山陰、島根県ケーブルテレビ協議会、民放テレビ局(予定)、出雲市身障者福祉協会、出雲市社協、(有)ハートフル・ウイング 他 | 会長<br>竹下英治<br><br>理事長<br>中嶋春喜<br><br>- | 松江市     |

| 番号 | 事業概要                                      |  | 事業主体  |   |          |
|----|---|--|---|---|----------|
|    | 事業名称                                      | 概要   | 協議体、行政、団体名  | 代表者   | 対象地域     |
| 13 | 多様な主体の連携と市民参加型漁業活動で目指す汽水域の環境再生            | <p>中海及び大橋川を対象に水産資源の再生と地域の活性化など地域課題解決に向けて多様な主体と連携し、環境再生に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海藻回収の体験</li> <li>・スジアオリの養殖、ヤマトシジミ飼育</li> <li>・市民が参加できる漁業の仕組みづくり</li> <li>・シーバス釣り大会</li> <li>・豊かな水辺環境を活かした環境学習</li> <li>・中海・大橋川の食を広める会</li> </ul>  | <p>&lt;協議体名&gt;<br/>汽水域自然再生・水産振興連絡協議会<br/>&lt;団体&gt;<br/>NPO法人自然再生センター<br/>&lt;行政&gt;<br/>島根県水産技術センター</p> <p>&lt;主な会議体構成団体&gt;<br/>松江市(環境保全課、水産振興課等)、中海漁業協同組合、宍道湖漁業協同組合、地産振興株式会社</p>                        | <p>会長<br/>徳岡隆夫<br/>理事長<br/>徳岡隆夫</p> <p>-</p>    | 松江市、中海圏域 |
| 14 | 障がい者自立支援事業“チャレンジド”～エキスポ開催から就労継続支援を目指して～   | <p>障がい者の自立支援の取組みとして、芸術イベントを通して、「雇用の場の確保」「生きがい」を生み出し、就労継続支援施設設置につなげ、事業継続を図るために、サポートセンターどりむが中心になって以下の事業を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年間に2回のチャレンジドアートエキスポ・イン・ジャパン(8日間)の開催</li> <li>・エキスポ開催を通して、チャレンジドアートを活用した新たな市場を生み出すことを目的として、企業と連携して新たな商品開発、障がい者の絵や音楽の才能発掘、チャレンジドアート作品の販売業務を行う就労継続支援施設の設置を行う</li> </ul> | <p>&lt;協議体名&gt;<br/>チャレンジドアート協議会(仮称)<br/>&lt;団体&gt;<br/>NPO法人サポートセンターどりむ<br/>&lt;行政&gt;<br/>島根県障がい福祉課</p> <p>&lt;主な会議体構成団体&gt;<br/>山陰合同銀行、一畑グループ各社、(社)島根県社会福祉協議会</p>  | <p>(未定)</p> <p>理事長<br/>土江和世</p> <p>-</p>        | 出雲市、松江市  |
| 15 | テーマコミュニティとエリアコミュニティの融合による新しい支えあいの仕組みづくり事業 | <p>地域が抱えている様々な課題を、NPO法人や社会福祉法人等の専門的な知識を有する「テーマコミュニティ」と、市内20カ所に設置される地区振興センターや自治会等で形成される「エリアコミュニティ」、この2つがそれぞれ連携協働して新しい支えあいの仕組みを構築することにより、これまで解決できなかった課題の解決に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ支援事業</li> <li>・活動・組織基盤強化事業</li> </ul>   | <p>&lt;協議体名&gt;<br/>益田市市民活動推進協議会(仮称)<br/>&lt;団体&gt;<br/>NPO法人アンダンテ21<br/>&lt;行政&gt;<br/>益田市地域振興課</p> <p>&lt;主な会議体構成団体&gt;<br/>益田市保育研究会、NPO法人コアラッチ、社会福祉法人益田市社会福祉協議会</p>                                      | <p>代表<br/>吉田篤志<br/>理事長<br/>廣兼義明</p> <p>-</p>    | 益田市      |
| 16 | 共同受注・共同配送による買い物弱者支援事業                     | <p>これまで各事業者が個別に行ってきた販売や配達などのサービスを、「ごようききコールセンター」により注文・相談などの受付を一元化、多様な主体と連携し、在宅高齢者配食サービス網などを活用して、サービス提供の新たな仕組みづくりを行い、いわゆる「買い物弱者」「生活弱者」を支援する。当初は松江市内のモデル地区を対象とした事業として開始、24時間体制でのサービス提供の採算性を検証し、モデル地区外へも拡大する。</p>   | <p>&lt;協議体名&gt;<br/>ごようきき 三河屋プロジェクト(仮称)<br/>&lt;団体&gt;<br/>NPO法人まちづくりネットワーク島根<br/>&lt;行政&gt;<br/>松江市市民生活相談課</p> <p>&lt;主な会議体構成団体&gt;<br/>モルツウェル株式会社、株式会社みしまや、株式会社メディアスコープ、NPO法人プロジェクトゆうあい</p>               | <p>代表<br/>野津 積<br/>理事長<br/>山本謙</p> <p>-</p>     | 松江市      |
| 17 | 若者の多様な生き方(雇用)創出プロジェクト                     | <p>さまざまな困難を抱え経済的な自立の難しい若者に対し、そういった若者の実情を理解し、支援する企業・経済団体を含めた幅広いネットワークを構築し、若者の働き場を提供するため、YCスタジオが中心になって以下の事業を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・困難を抱えた若者を雇用し、確保した外部人材の指導を受けながら、食に関わる新商品を開発、販売、利益を上げ、雇用を生み出し、継続する</li> <li>・事務局の人材育成も図りながら、ネットワークに参加する支援団体を募り、理解ある雇用主を開拓していく</li> </ul>                            | <p>&lt;協議体名&gt;<br/>若者の多様な生き方(雇用)創出ネットワーク(仮称)<br/>&lt;団体&gt;<br/>NPO法人YCスタジオ<br/>&lt;行政&gt;<br/>松江市教育委員会</p> <p>&lt;主な会議体構成団体&gt;<br/>松江商工会議所、島根県経営者協会、子どもの居場所フリーダス、どこでもミュージアム研究所、音楽&amp;ものづくりスタジオ実行委員会</p> | <p>会長<br/>木村悦子</p> <p>理事長<br/>木村悦子</p> <p>-</p> | 松江市      |